

# 【河川】 職員による 「学習型防災訓練」を実地しました!

平成30年4月11日  
山形河川国道事務所

## 1. 経緯／概要

○ 山形河川国道事務所では、最上川上流の洪水期に備え、災害対策支部の各班を一同に集め、**各自の役割や出水時の行動手順の確認のため、職員による「学習型訓練」を実地**しました。

日時:平成30年4月11日(水)13:00~15:00

場所:山形河川国道事務所 災害対策室

参加機関:山形河川国道事務所(総括班、河川情報班、河川管理班、河川防災班)、寒河江出張所(15名が参加)

※学習型訓練の特徴:ファシリテータ(司会進行役)からの質問に各班が対応を検討し、代表班からの回答によって全員の情報共有が図られるメリットがある。

## 2. 訓練の様子

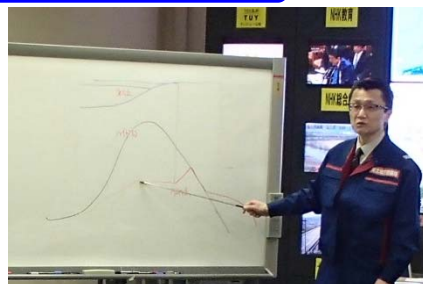


所内関係者で訓練を実施

### ◆学習型防災訓練とは?

ファシリテータ(司会進行役)が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練のことです。

## 3. 訓練メニュー



副支部長が進行役  
(各班に質問を投げかけ)



質問への回答の様子

### ◆訓練の想定ケース

- ① 平時の段階で、事務所として予め備えておくべき内容の確認
- ② 雨の降り始めや台風の接近段階で、事務所が対応すべき内容の確認
- ③ 水位上昇・浸水被害の段階で、事務所が対応すべき内容の確認

## 4. 主な感想・意見

- 自分の担当分野の知識の補完ができた。
- 他課・出張所の対応内容が把握できた。
- **年度始め、出水期始めに関係者で意識向上、情報共有が図られた。**